

## 令和7年度第1回千歳市学校給食センター運営審議会 開催結果概要

<日 時>

令和7年7月16日(水) 16時15分～17時00分

<場 所>

第2庁舎会議室3・4

<参加者>

(委員:10名中7名出席)

山下委員、長太委員、小倉委員、佐藤委員、今野委員、秦委員、吉村委員

(事務局)

佐藤教育部長、高橋教育部次長、高岸センター長、安積業務係長、伊藤主査、杉村主任、  
山根栄養教諭

(傍聴者) 1名

### 【開催結果】

#### 1 開会

#### 2 新委員及び事務局紹介

#### 3 委員長等選出

事務局一任の声があった事から、事務局案に基づき、山下委員長(校長会推薦)、小倉副委員長(市PTA連合会推薦)が選出された。

#### 4 委員長挨拶

#### 5 議事

報告第1号「令和6年度学校給食事業報告」について資料に基づき報告。報告済みとなった。

#### ○ [質疑・感想等]

(審議会委員)

- ・公式インスタグラムについて、調理方法やレシピ、学校給食に関して分かりやすく掲載している。試食会等を通して給食に対する興味関心が高いと実感しており、インスタグラムは現代の広報という観点から合っていると感じた。さらなる周知やアピール方法として、学校だより等を活用することも検討してはどうか。

(事務局)

- ・昨年度、給食だよりやからふる(教育委員会だより)を通じてインスタグラムの周知を行ってきたが、まだ認知されていないと感じる。学校だより等で掲載の協力をいただけるのであればぜひとも活用したい。

(審議会委員)

- ・パンについて、角食パンと丸パンの2種のみであるが何か理由はあるのか。

(事務局)

- ・アレルギーを持つ児童生徒でも食べることができるように、平成22年度から乳と卵を使用していないパンを提供している。現在は2種のみ提供であるが、構想として新学校給食センターの整備により、アレルギーに対応した各室設備を予定していることから、パンにおいても変更やバリエーションを増やした対応ができれば良いと考えている。

(審議会委員)

- ・年々、修繕や備品購入件数、金額が増加しているが、新学校給食センターが整備された際に備品等再利用できるものはあるのか。また、給食費の収納状況について、公会計以前と公会計後で算出方法等に違いはあるのか。

(事務局)

- ・新センターで再利用できるものは少なからずあるが、基本的には入替えで検討している。

また、給食費の収納状況については、令和6年度から公会計に移行したこともあり、市の予算に組み込み適切に収納管理ができるようになった。公会計以前とは算出方法が異なることから収納率の単純比較はできないものの、公会計以前は児童生徒分に教職員分を含めた収納率で算出されている。公会計後は、児童生徒分とそれ以外（教職員分含む）に区分しより具体的な管理が可能となっている。

(審議会委員)

- ・昨年度、給食レシピコンテストで最優秀賞を受賞した献立を試食しとても美味しかった。現在は小中学校の児童生徒を対象としたコンテストとなっているが、今後保護者や大人向けに発信してはいかがか。「お母さんの節約レシピ」や「お父さん秘伝のレシピ」、祖父母等の応募があるとより給食レシピコンテストが盛り上がる感じる。

(事務局)

- ・今年度については、昨年度同様の募集概要としているが、今後いろいろな工夫やアレンジを行っていく予定のため、貴重なご意見として参考にさせていただきたい。

(審議会委員)

- ・給食センターインスタグラムのPRや周知の方法として、そらまちキッズを活用してみたいはいかがか。

(事務局)

- ・昨年度、そらまちキッズ運営側から提案を受けて周知していただけたこともありフォロワー数の増加につながった。今後も活用できる方法を模索していきたい。

(審議会委員)

- ・食物アレルギーについて、日ごろから十分な対策をとっていることと思うが、昨年度において給食を喫食してアレルギー反応がでた児童生徒の報告はあったか。

(事務局)

- ・食物アレルギーについては、事前に各種届出が必要となっている。そのため、昨年度、給食を喫食したことで重篤なアレルギー反応がでたという報告は受けていない。アレルギーにおいては入念な確認が必要となってくることから、今後もセンター及び学校でしっかりと取り組んでいく。

(審議会委員)

- ・インスタグラムの運営について、通常業務と並行して運営していくことは大変な作業と感じる。今まででフォロワーと意見交換や感想のやりとりはあったのか。また、地産地消において、千歳産の野菜は6品種のみ（小松菜、キャベツ、ブロッコリー、白菜、人参、ミニトマト）なのか。それとも品種を厳選していたり、納入数量等が関係していたりするのか。加えて、地元産とそれ以外を仕入れることで、金額等何か違いはあるのか。

(事務局)

- ・インスタグラムの開設から日常の投稿まですべてセンター職員及び栄養教諭が運営している。毎日の献立を撮影し発信したり、調理場内の様子を撮影したりすることもあるが、投稿には多くの時間と作業を費やすことから、主に行事食や特別食の機会にあわせて投稿を行っている。また、フォロワーとのやりとりについては、運用の観点からコメント機能は使用しておらず、一方的な発信のみとしている。給食に関する感想や意見があった際には、参考としていきたい。

千歳産の野菜は一覧として示したもの以外にもあるが、規格サイズや予算面等の理由から必要数量分の納入が困難なものも多い。しかしながら、今年度は千歳産を納入できる業者があれば、優先的に納入できるような方法を検討していくこととしている。

(審議会委員)

- ・昨年度時点で、新学校給食センターの稼働は令和11年度からと聞いていたが変更はないか。

(事務局)

- ・そのとおりである。

(審議会委員)

- ・さまざまな市町村の給食を喫食したが、千歳市のカレーが特に美味しかった。今後も継続して美味しい給食を提供してほしい。

(事務局)

- ・カレーは児童生徒からも大変好評な献立である。今後も美味しく食べてもらえる献立を提

供していきたい。

6 その他

令和7年度学校給食事業予定について資料に基づき報告。報告済みとなった。

○ [質疑・感想等]

(審議会委員)

- ・スポットエアコンに関して、各小中学校エアコンの設置に伴い常時使用していない物もあると認識している。不要となっているものを利用してはいかがか。

(事務局)

- ・各学校特別教室等の使用増加に伴い、実情として不要となるスポットエアコンが少ないことから、当課で予算措置し購入した経緯がある。新センターにおいてはエアコンを設置予定であることから、新センター稼働までの間は購入したスポットエアコンで対応することとしている。また、昨年度から熱中症対策として空調機能付き作業服を導入している。

(審議会委員)

- ・給食費の無償化を実施している自治体もあるが、千歳市としてはどのように今後検討されていくのか。

(事務局)

- ・千歳市独自に給食費無償化を実施することは予算面で困難であるが、国から具体的な方針等が示された場合は、すみやかにその方針にしたがって検討していくこととしている。

7 閉会

以 上